



## 2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
 コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 高橋 武治  
 (氏名) 市川 尚  
 TEL 03-3271-1711  
 配当支払開始予定日 2020年9月7日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,022	65.7	325	75.0	346	74.4	369	58.0
2019年12月期第2四半期	8,822	126.4	1,302	112.8	1,353	103.5	879	107.9

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 359百万円 (59.3%) 2019年12月期第2四半期 882百万円 (108.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	42.41	
2019年12月期第2四半期	100.63	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	12,908	9,200	71.3	1,059.87
2019年12月期	14,569	8,996	61.7	1,029.86

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 9,200百万円 2019年12月期 8,996百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		15.00		15.00	30.00
2020年12月期		10.00			
2020年12月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,850	59.1	410	83.7	450	82.7	500	59.8	57.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	9,553,011 株	2019年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	872,115 株	2019年12月期	817,814 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	8,710,140 株	2019年12月期2Q	8,735,197 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、大幅に下押しされており厳しい状況で推移しました。企業収益や生産活動等の面で弱含みの傾向がみられており、感染症拡大に伴う影響等により今後とも内外経済の動向は先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、さまざまな業種で、仕事量が減少してきました。

PCカーテンウォール業界においても、昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いております。(8月から生産量が回復する見込みであります。)

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブに加え、PCカーテンウォール事業で関わった都市型高級ホテルのプール等の工事拡大を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社企業グループの業績は売上高は30億22百万円(前年同四半期比65.7%減)、営業利益3億25百万円(前年同四半期比75.0%減)、経常利益3億46百万円(前年同四半期比74.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3億69百万円(前年同四半期比58.0%減)となりました。なお、受注高は43億89百万円(前年同四半期比9.8%増)、受注残高は125億74百万円(前連結会計年度末比12.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①PCカーテンウォール事業

昨年からの受注量、生産量ともに低迷が続いており、比例して売上が大幅に落ち込みました。一方、顧客の製品形状変更、追加依頼などに真摯に対応して、追加売上を獲得し、また工場を中心に懸命のコストダウンを図り、収益を確保しています。

当セグメントの売上高は26億85百万円(前年同四半期比68.8%減)、セグメント利益は2億91百万円(前年同四半期比77.8%減)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

#### ②アクア事業

学校関連、フィットネスクラブ及びホテルのプールの新設・改修が順調に進んだため、当セグメントの売上高は3億2百万円(前年同四半期比61.9%増)、セグメント利益は34百万円(前年同四半期は1百万円のセグメント利益)となりました。

#### ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

当セグメントの売上高は33百万円(前年同四半期比24.2%増)、セグメント損失は0百万円(前年同四半期は8百万円のセグメント損失)となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症が建設業界に本格的に影響を与える時期は、飲食やインバウンド関連に比べて数年遅くなることが予想されており、現時点では当社の業績にはさほど影響を与えておりません。しかし、長期的には景気の低迷が建設需要を下押しすることはほぼ確実と認識しております。また、東京五輪が1年延期されたことで、五輪後に計画されていたプロジェクトの始動が遅れる可能性があること、テレワーク普及に伴いオフィスビル需要の低下の可能性があることが懸念されております。これらはカーテンウォール業界、プール業界双方にマイナスの影響があることが予想されております。

マイナス要因は多々ありますが、安定した財務基盤のある当社は、従来と変わらず着実に人員強化を進め、景気が再び浮揚する際は、顧客からのリクエストにさらに幅広く対応できるような態勢をつくれるように努力を重ねる所存であります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は129億8百万円と前連結会計年度末と比較して16億61百万円の減少となりました。これは主に、現金預金が8億4百万円及び受取手形・完成工事未収入金等が10億26百万円減少したことによるものであります。

### ②負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は37億8百万円と前連結会計年度末と比較して18億65百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等が8億79百万円及び長期借入金が1億60百万円、役員退職慰労引当金が6億77百万円減少したことによるものであります。

### ③純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は92億円と前連結会計年度末と比較して2億4百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により3億69百万円増加したこと、配当金の支払いにより1億31百万円減少したことにより2億38百万円増加したことによるものであります。

### ④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して16億34百万円増加して21億41百万円(前年同四半期比322.5%増)となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に、法人税等の支払額8億83百万円、未成工事支出金の増加額7億38百万円、役員退職慰労引当金の減少額6億77百万円及び売上債権の減少額17億37百万円により2億80百万円の資金減少(前年同四半期は3億82百万円の資金増加)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に有形固定資産の取得による支出1億31百万円、貸付けによる支出1億円及び貸付金の回収による収入1億4百万円により98百万円の資金減少(前年同四半期は2億6百万円の資金減少)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの状況につきましては、主に長期借入金の返済による支出2億40百万円、配当金の支払額1億30百万円により4億25百万円の資金減少(前年同四半期は3億34百万円の資金減少)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月31日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,946,595	2,141,710
受取手形・完成工事未収入金等	1,491,222	464,941
電子記録債権	1,696,136	985,264
未成工事支出金	3,055,588	3,794,554
その他のたな卸資産	70,640	76,685
その他	59,881	150,356
流動資産合計	9,320,065	7,613,513
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	653,439	659,184
土地	1,783,101	1,783,101
その他(純額)	644,301	643,052
有形固定資産合計	3,080,842	3,085,338
無形固定資産		
	42,078	38,590
投資その他の資産		
投資有価証券	222,552	207,786
保険積立金	949,176	1,013,418
投資不動産(純額)	118,624	91,464
退職給付に係る資産	114,016	105,175
その他	738,990	769,976
貸倒引当金	△16,567	△16,567
投資その他の資産合計	2,126,792	2,171,253
固定資産合計	5,249,713	5,295,183
資産合計	14,569,779	12,908,696
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	466,576	527,535
電子記録債務	368,532	276,588
短期借入金	667,000	587,000
1年内償還予定の社債	60,000	30,000
未払法人税等	883,174	3,744
未成工事受入金	779,921	1,271,067
賞与引当金	53,044	46,614
その他の引当金	92,360	17,440
その他	620,312	203,486
流動負債合計	3,990,921	2,963,475
固定負債		
長期借入金	630,000	470,000
役員退職慰労引当金	869,525	192,391
その他	83,326	82,174
固定負債合計	1,582,851	744,565
負債合計	5,573,773	3,708,040

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	5,803,679	6,042,063
自己株式	△238,430	△261,845
株主資本合計	8,948,612	9,163,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,393	37,074
その他の包括利益累計額合計	47,393	37,074
純資産合計	8,996,005	9,200,655
負債純資産合計	14,569,779	12,908,696

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高		
完成工事高	8,822,328	3,022,161
売上原価		
完成工事原価	7,133,777	2,301,673
売上総利益		
完成工事総利益	1,688,550	720,488
販売費及び一般管理費	385,661	395,279
営業利益	1,302,889	325,208
営業外収益		
受取利息	231	244
受取配当金	1,948	1,707
投資有価証券売却益	6,644	-
投資不動産賃貸料	2,801	6,257
受取家賃	6,999	5,706
鉄屑売却収入	27,444	10,529
その他	12,861	6,091
営業外収益合計	58,931	30,537
営業外費用		
支払利息	4,668	3,687
不動産賃貸費用	1,428	3,137
その他	2,379	2,165
営業外費用合計	8,476	8,991
経常利益	1,353,344	346,754
特別利益		
固定資産売却益	-	1,771
特別利益合計	-	1,771
特別損失		
固定資産除却損	1,241	4,037
特別損失合計	1,241	4,037
税金等調整前四半期純利益	1,352,102	344,488
法人税、住民税及び事業税	499,931	3,688
法人税等調整額	△26,873	△28,612
法人税等合計	473,057	△24,923
四半期純利益	879,045	369,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	879,045	369,411



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	879,045	369,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,044	△10,318
その他の包括利益合計	3,044	△10,318
四半期包括利益	882,089	359,092
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882,089	359,092

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,352,102	344,488
減価償却費	124,469	129,581
固定資産売却損益(△は益)	-	△1,771
固定資産除却損	159	2,037
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,029	△677,134
引当金の増減額(△は減少)	△6,888	△81,350
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△5,181	8,840
受取利息及び受取配当金	△2,180	△1,951
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,644	-
支払利息	4,668	3,687
売上債権の増減額(△は増加)	△3,243,594	1,737,152
未成工事支出金の増減額(△は増加)	1,211,355	△738,966
その他のたな卸資産の増減額(△は増加)	15,677	△6,044
保険積立金の増減額(△は増加)	△15,524	△64,241
その他の資産の増減額(△は増加)	284,426	△92,465
仕入債務の増減額(△は減少)	345,392	△30,984
未成工事受入金の増減額(△は減少)	251,151	491,145
その他の負債の増減額(△は減少)	282,684	△417,263
小計	600,104	604,760
利息及び配当金の受取額	2,367	2,131
利息の支払額	△4,981	△4,149
法人税等の支払額	△214,962	△883,381
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,527	△280,637
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△206,175	△131,736
有形固定資産の売却による収入	0	-
投資有価証券の取得による支出	△83,269	-
投資有価証券の売却による収入	82,967	-
投資不動産の売却による収入	-	28,689
貸付けによる支出	△1,000	△100,000
貸付金の回収による収入	4,598	104,850
その他	△3,382	△600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△206,260	△98,796

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△196,000	△240,000
社債の償還による支出	△50,000	△30,000
建設協力金の返済による支出	△1,260	△1,260
自己株式の取得による支出	-	△23,414
配当金の支払額	△87,357	△130,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△334,617	△425,450
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△158,350	△804,884
現金及び現金同等物の期首残高	665,280	2,946,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	506,930	2,141,710

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,608,400	187,041	8,795,441	26,887	8,822,328	—	8,822,328
セグメント間の内部売 上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,608,400	187,041	8,795,441	26,887	8,822,328	—	8,822,328
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	1,308,960	1,989	1,310,950	△8,061	1,302,889	—	1,302,889

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,685,858	302,896	2,988,755	33,406	3,022,161	—	3,022,161
セグメント間の内部売 上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,685,858	302,896	2,988,755	33,406	3,022,161	—	3,022,161
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	291,152	34,261	325,414	△206	325,208	—	325,208

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社企業グループは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについては、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症拡大が当社企業グループの業績に与える影響は軽微であり、当第2四半期以降も重要な影響がないという仮定に基づき会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は、不確定要素が多く、今後の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。